

多層型支援システムの構築

～すべての児童が「学校生活が楽しい」
「学びが楽しい」と言える学校～

戸田市立喜沢小学校

Kizawa-e 多層型支援システム

学びの支援

行動の支援



第3層支援
個別的な学習・行動支援

- ・追加教材の提供
- ・少人数による指導



- ・支援計画の作成
- ・支援会議

第2層支援
第1層支援のみでは効果が十分得られない
児童への配慮や追加の学習・行動支援



すべての児童にわかりやすい授業のデザイン

- ・個別最適な学びの実践
- ・学びのユニバーサルデザイン
- ・RTIシステム（支援や指導に対してどれだけ反応したかを測定し、支援を追加していく）

すべての児童に予防的・事前の支援・指導

- ・スクールワイドPBS
（学校全体で取り組むポジティブな行動支援）
- ・応用行動分析に基づくABC行動フレームで
取り組む教育活動

第1層支援
多様な児童が在籍していることを前提とした主体性・学習意欲・自律を大切にした質の高い学び
すべての児童の望ましい行動を育てるポジティブな行動支援

「脱・自前主義」

産官学と連携した多層型支援システムの構築

科学的・専門的な知見を
伴走型支援で活用



- ① 専門的知見を活用した教師の支援スキルの向上
 - ・ 支援会議における運営支援・助言
 - ・ 全学級への定期的な訪問型支援
 - ・ 個別支援教材開発・活用支援
- ② 先進地視察
- ③ 多層型支援システム構築のための支援・助言

伴走型支援（つながり続ける支援）：
教師の主体的な実践を専門的知見を有する
支援者が継続的・包括的に支援・助言する。
最終的には教師の専門性を高め、自走化に
つなげていく。